



佛譜天浦波抄

五

^ 5
4422
5



猿 此の所へ銀をたぐりて不問はる 昔は
日 淡村や鳥もくらげ 昔は 富 山
日 じつしき拍子みえず 甲がづい 曾良
炭 舞羽の糸も ちりす 縹 寺校
猿 人すしにくれず 名物の 梨 寺
日 さらぬや 明年跡生舞田菴 さらぬやのづい 嵐南
荒 けさのよきさびしうなる 雨降か 老ね
続 涅槃像 赤きまきりて 見るとぞ 活圃
業 いくさ草葉をゆりて 神もかへらばぞ 新了
日 せいしよの多くせりて 手から身 望水
焼 名りやがうす 拾えぬ 夜のそ 四鼓
荒 餅搗やゆらぎとぞ 寝くらみ ち下

炭 今より庄屋の口は ながけぞ 望夜
日 市中に 木葉も ちがふ 富士あり 権隣
続 山月もの 櫻もよごさず 野鳥
炭 ちののし 絶ふ ちのの 赤 権 寺考
猿 ちののし 石 本曹塚 ちのの 本曹の ちのの 乙州
今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の
み 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の
り 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の
○ 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の
今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の
今一解の 今一解の 今一解の 今一解の 今一解の

炭	町多しのあそびを捨るゝ	字校
瓢	口上りたるふるりの時宣	字考
鏡	宣旨のしるしをいれぬ	惟此
炭	むすしや御へんあそび	芭蕉
日	漢曲のやうに難読とせん	字校
日	しるしをいれぬ	日
瓢	かき流のりや下紙をい	字通
炭	あそびと雨のしるし	・芭蕉
日	壁紙たるゆゑに	日
様	しるしをいれぬ	鳥巢
○福がたのしるしをいれぬ		
しるしをいれぬ		

の音はしるしのあそびの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。

今更

あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。あそびはしるしの用はしるしをいれぬ。

コレソクバラストイフコト。ズトニ所ヘタラセテニスルヲ。

人の物かゝるにや 粟家花より 野放

男の心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

あはれき心は うれしき家あり 甚角

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

らん

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

冬 猿 日 日 日 荒 徒

年の市... 羽織... 其角
 一井
 朝鮮... 友を身... 村後
 九兆
 重五

員 春 瓢 炭 様 員 春 様 員 炭 日

月の影うごちすけいそん
よの影前供うそん 袴さきて
酒ぶらげいふあさりかん
金佛の細き沖産とすかん
あつるまじく掃からん 鷹の顔
呼子 多し何をいふ
くやうそん 小松買あん 牛の夢
くつまう 自慢つとそ 遊ざん
くわいのとたが置うそん ちがん
此ころトイスノ疑ノカガシナリ

野水 荷子 曲水 出若 景業 越人 泣若 冬文 泥深とそ

員

狐 作ふと和人のアそん

コレモ世やハ疑ナリ



日

くまのいあきくも 賦そん

胡友

○ 列ん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

瓢

くまのいあきくも 賦そん

出若

日

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

くまのいあきくも 賦そん 何やあそん ちがん

すうんがかり。よんじひのう。集中例をす

ありこのかりも。ふかのつふらるはく。那利身よりなるあり

にあり。菊ちよらふれかり。信言よぎノビヤカをらりあり

御結あよん

日 続 宇核のあそび業かりり 史部

日 荒 楠もふんさうかり 降のそと 史部

日 日 持のつゝ海ふらりあり 荷子

日 日 何ふもふんさうのしらにふらりあり 日

日 日 馬士のソい次中かりり 史部

日 日 目利どふんさうのしらにふらりあり 馬寛

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

日 日 へんやせのふらりあり 史部

此上ノ事ハ此例ナリ。下ノ事ハ那利身ノ事ナリ。ヨク味ハ知ルベシ

猿	如常の所	加帳	一人
炭	小栗ト母片	言	甚角
日	塩魚のう	ほす口	かり
日	播の玄	初手	注
員	と	と	加及
日	給	と	一井
日	十日の	蓄れ	荷子
炭	投	お	狐
焼	支	考	支考
員	令	相	荷子
員	月の	秋	荷子

猿
如常の所
加帳
一人

炭
小栗ト母片
言
甚角

日
塩魚のう
ほす口
かり

日
播の玄
初手
注

員
と
と
加及

日
給
と
一井

日
十日の
蓄れ
荷子

炭
投
お
狐

焼
支
考
支考

員
令
相
荷子

員
月の
秋
荷子

後 員 冬 日 炭 冬 後 日 炭

ふりかきみ枝かきらる様 草

や、初秋の夜もあがりたる 野水

冬ふり納豆かきくかたる日

果ぐももまじなるるヒミトイフ山ニテ卯セニワカレテ さま

草づりや鼻のどけなる 其角

藤相かる膳いさしめ 牡母の 風弦

妙のやよ賢なる女 重五

うのういふ寺のあつとつつと斗ヲカケテトハウケガタシ。つとつるカドトイフ。手例ナリ。コレ書寫ノアヤマリニヤアラン 草薺

小刀の輪又なる 細工箱 半残

唯四方なる草 庵の露 浮破

奈良ぶい何どつとつる細もて 四夜

後 員 冬 日 炭 冬 後 日 炭

飯粒かゝる面桶イタタキ大歩瀧 推絛

このまいぢりやう花のまじりたる 刈草

うづかぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ 祭 草薺

さか娘やあつたの面わうかーん 藤原

ゆのまね年のあたくしうきん 村竹

さし柳 ちんぐ 壺かゝる 芥子 一笑

春まがしりたる年のは 纏 里圃

山のまねおと柳の かげるなる 吟泉

俗言ナナナナナナナナナナナナナナ 四夜

人のまねおと柳の 壺かゝる 四夜

素布子ひかり 壺かゝる 四夜

我母こころにけいこくをうたへしとて
 とおもへん為のあかきりしとて壁と
 土と別にてあかきりしとて壁と
 土と別にてあかきりしとて壁と
 土と別にてあかきりしとて壁と

日 十國子と小粒よかりぬ秋の風
 日 うの秋とつらあきあき梅の風
 日 街に宿所せぬあき年中の中
 日 夜の夜もさうさうあきすうば
 日 暖かいとてさうさうあき花の風
 日 こころと小粒よかりぬあき月
 日 肩付とてさうさうあきあきの風

日 大どろりしてさうさうあき冬
 日 里くの寒くさうさうあき木立
 日 いんやとてさうさうあきあき
 日 さうさうあきあきあきあきあき
 日 葉裨とてさうさうあきあきあき
 日 羅綾のさうさうあきあきあき
 日 ^{タビモノノ}さうさうあきあきあきあき
 日 あきさうさうあきあきあきあき
 日 月さうさうあきあきあきあき
 日 ひささうさうあきあきあきあき
 日 木山サ物とてさうさうあきあき
 日 雪の羽とてさうさうあきあき

わづらひのしづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

荒 無入るだもりの門もせよ死のト 四水

後 つかもど我場ぶまけかきもどす 奥の

今更入るしづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

おとりのしづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

のこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

かきもどす我場ぶまけかきもどす

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

荒

あまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

拾

かきもどす我場ぶまけかきもどす

員

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

冬

かきもどす我場ぶまけかきもどす

荒

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

日

あまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

日

かきもどす我場ぶまけかきもどす

日

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

日

あまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

日

かきもどす我場ぶまけかきもどす

日

しづみあまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

続

あまのこかりいさめいなりてりやうかりのちかど

集 旅鳥 古巣より梅より如く
日 夷講 破りし袴をきり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり
日 雲とて 鶯の鳴きなり

猿 燒きやけり
日 仲秋の月も
春 大津の浪
日 芥子の花
日 月乃げ
春 常木
日 三日月

○ 後... 世の衣... 衣の...

昔前... 甘利... 現在... 千アハセ...

ひとかゝるるは〜 一日あゝ〜
 だゝ〜
 炭 人のあゝ〜
 日 ま〜
 日 ら〜
 集 酒のあゝ〜
 集 酒のあゝ〜
 集 酒のあゝ〜

○来會

き

け〜
 テアッタ〜
 ん〜

俗よキトキイタキトユカウカ〜
 け〜
 フ〜
 け〜
 け〜
 け〜
け〜
 け〜
 け〜
 け〜
 け〜

Handwritten text in a cursive script, likely representing a list of names or titles in Kanji, though the characters are highly stylized and difficult to decipher.

天満の村 天 村 天 村

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or notes from the previous page.

Handwritten text in a cursive script, likely the start of a poem or a specific entry.

荒 馬 馬 馬 馬 馬

日 お お 日 日 日

炭 お お 炭 炭 炭

榎 お お 榎 榎 榎

続 お お 続 続 続

日 書 書 日 日 日

籠可
會吐
学按
呼徑
胡故
芭葱

員	日	後	瓢	後	後	後	員	炭	瓢	春	炭	員
さびき秋を女まよりをり	らんくき舞うやうりささのき	炭竈より負の積代倒さるり	一貫の海びりりりりりり	娘入れ門もさるり海をさき	都しも伝まぶさるり角力五	序表向である船を泊り	里さるり沖のささるりゆふ野	深くらさるり供乃とさるり	赤この小ねる雪れこのりり	梅さるり二月さるりつれさるり	森くさるり遠さるりりりり	炭
落橋	舟系	凡兆	曲水	許六	生来	一井	本草	砂頑	紅葉	柳半	炭	

炭	日	後	後	員	後	後	員	炭	春	員	後	後
赤みその口ゆ明々り梅の花	うちさるり海風のくづれをりり	五百のりけな二夜よさるりり	三日月一蠶のあさるりかさるり	桶のぶらなやれは色さるり	菊ぬれりりり織り花さるり	度路のりりり女房さるりりり	灰汁桶のさるりりりりりり	まごさるりりりりりりりり	ゆふ原あさるりりりりりり	田と持さるりりりりりりり	騎あさるりりりりりりりり	炭
遊刀	柳半	野坡	之道	里路	鬼舌	占圃	凡兆	傘下	赤草	羽笠	赤草	

炭 後 日 員 炭 飄 荒 日 日 荒 後

く川をへ隣りなれども一分り
本後ぬぐとくに生るる葉の花
みづくく成る所をわかれり
むさむさりととくくめたり
芋食の縁へくくり初まれ
然るにふくむと ぼのふくり
とくすくすくして ぬくりむの枝
りよのあゝ境平とくくり
さくく候里とわくくふり
ふくく牛ふふくく草のふ
りくく中ふふくりむき
ふくくふくふくくく
炭 後
木節
半残
芥子
荊口
芭蕉
時多
野水
又楓
木節
釣岩
文章

荒 日 日 日 日 日 日 日 日 荒 日 日

つらふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふ土筆
ひふふふふふふふふふ山
さくくく 福士のふふふからり
雪の富士草をふふふふふ
ふふふふふ ちかふふふ
年男のふふふふふふふ
湖のふふふふふ 五月 雨
ふふふふ 出まのふふふふ
飯のふふふ 梅の一本れふふ
枯ふふ 鳥のふふふ 秋の香
ふふふ 更科ニユク人ニニカヒテ
ふふふ 月く二人ふふふ
一井
芭蕉
冬松
ふ
出水
木節
日
文章
小
文章
芭蕉
芥子

く〜く〜く〜。かゝるく〜く〜。古人の詩に
句がよ〜の〜の肺肝をみる〜
う〜。せほ口拍みよの〜
きま〜

瓢 ひとりのあるふ〜
瓢 瓢

後 三里ありの道〜
後 瓢

冬 言ひ〜
冬 瓢

炭 小〜
炭 瓢

後 ち〜
後 瓢

日序 伊賀の〜
日序 瓢

荒 ち〜
荒 瓢

瓢 ち〜
瓢 瓢

くん かん〜
終るける〜
〜の〜
〜みす〜
〜

員 かん〜
員 瓢

荒 かん〜
荒 瓢

集 かん〜
集 瓢

後 かん〜
後 瓢

日 かん〜
日 瓢

拾 かん〜
拾 瓢

拾 かん〜
拾 瓢

